

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

ソフトバンク株式会社（証券コード:9434）

【据置】

長期発行体格付	AA-
格付の見通し	安定的
債券格付	AA-
優先株式格付	A
発行登録債予備格付	AA-
国内CP格付	J-1+

■格付事由

- 国内大手通信キャリアの1社で、コアビジネスであるモバイルを中心に強固な事業基盤を有する。セグメントは、コンシューマ事業、エンタープライズ事業、ディストリビューション事業、メディア・EC事業（LINEヤフー（LY）含む）、ファイナンス事業（PayPay含む）に分かれる。「Beyond Carrier」を成長戦略に掲げ、非通信領域の拡大に注力している。足元ではAIデータセンターへの投資を積極化しており、デジタル化社会の発展に不可欠な次世代社会インフラの構築を目指している。
- 24年3月末時点でソフトバンクグループ（SBG）が当社株式の40.4%を保有するなど、当社はSBGの連結子会社に該当する。しかし、SBGは投資会社としての立場を明確にしておき、当社のSBGからの独立性は強く、当社の格付はSBGの格付から制約を受けないと判断している。
- 業界の大手企業としてのプレゼンスに変化はなく、安定した収益力を維持している。22/3期から生じた通信料値下げ影響が一巡し、主力のコンシューマ事業は増益に転じている。近年は通信品質に対する評価が相対的に高まっているほか、顧客ニーズに沿った新プランの投入により契約獲得は順調に推移している。注力する非通信分野ではクラウドやセキュリティなどソリューション等売上（エンタープライズ事業）が2桁成長を続けているほか、メディア・EC事業における収益改善も進んでいる。投資が先行していたPayPay事業は利益貢献フェーズに入ってきた。安定的なキャッシュフロー創出力を背景に、財務改善も徐々に進むと考えられる。以上より、格付は据え置き、見通しは安定的とした。
- 25/3期営業利益は9,000億円（前期比2.7%増）と増益を計画している。コンシューマ事業の回復基調が継続する見込みであるほか、引き続き非通信分野の伸びが利益成長を牽引する。PayPay事業は通年ベースで営業黒字化を達成できる見通し。一方、新領域であるAIデータセンター事業は、NVIDIAのGPU（画像処理半導体）の調達などAI計算基盤の構築に相応の投資額が必要となり、短期的には費用が先行する。ただ、日本国内におけるAIデータセンターへのニーズを着実に捕捉し、一定の先行者利益を享受できると考えられる。こうした成長投資に対する負担を加味しても、堅調な業績を維持できるとJCRはみている。
- 25/3期第1四半期末の純有利子負債（LY、PayPay等、割賦債権流動化影響を除く）は3.34兆円（前期末3.03兆円）、純有利子負債/調整後EBITDAは2.6倍（同2.4倍）となり、一定の財務構成が維持されている。AIデータセンターなど長期性の成長投資を除いた既存事業（LY、PayPay等除く）における資金創出能力（プライマリーFCF）6,000億円をベースに、配当後でもFCFの黒字を確保する方針。成長投資については政府補助金の活用や社債型種類株式など資本性商品を含めた長期性資金で賄う考えである。こうした財務戦略や通信事業からの安定キャッシュフローを踏まえれば、短期的に財務構成が大きく変化する懸念は小さい。

（担当）本西 明久・村松 直樹

■格付対象

発行体：ソフトバンク株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年3月18日	2025年3月18日	0.330%	AA-
第3回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年3月18日	2027年3月18日	0.450%	AA-
第4回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年3月18日	2030年3月18日	0.500%	AA-
第6回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	700億円	2020年7月29日	2025年7月29日	0.360%	AA-
第7回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2020年7月29日	2030年7月29日	0.580%	AA-
第8回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	800億円	2020年12月3日	2025年12月3日	0.350%	AA-
第9回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	250億円	2020年12月3日	2027年12月3日	0.480%	AA-
第10回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2020年12月3日	2030年12月3日	0.570%	AA-
第11回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	350億円	2021年6月3日	2026年6月3日	0.300%	AA-
第12回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2021年6月3日	2028年6月2日	0.420%	AA-
第13回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	350億円	2021年6月3日	2031年6月3日	0.520%	AA-
第14回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	350億円	2021年10月12日	2026年10月9日	0.240%	AA-
第15回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	250億円	2021年10月12日	2028年10月12日	0.410%	AA-
第16回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2021年10月12日	2031年10月10日	0.520%	AA-
第17回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）	150億円	2022年1月27日	2029年1月26日	0.510%	AA-
第18回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）	150億円	2022年1月27日	2032年1月27日	0.620%	AA-
第19回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	1,200億円	2023年3月10日	2028年3月10日	0.98%	AA-
第20回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2023年7月12日	2026年7月10日	0.320%	AA-
第21回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	600億円	2023年7月12日	2028年7月12日	0.820%	AA-
第22回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2023年7月12日	2030年7月12日	1.000%	AA-
第23回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2023年7月12日	2033年7月12日	1.300%	AA-
第24回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	1,400億円	2024年1月31日	2031年1月31日	1.24%	AA-
第25回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2024年5月27日	2027年5月27日	0.828%	AA-
第26回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	600億円	2024年5月27日	2029年5月25日	1.189%	AA-

対象	発行額	発行日	償還期日	優先配当率	格付
第1回社債型種類株式	1,200億円	2023年11月1日	定めなし	(注)	A

(注) 2029年3月31日以前までは2.500%。

2029年3月31日の翌日以降は1年国債金利に3.182%を加算した配当年率。

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	10,000億円	2023年12月22日から2年間	AA-

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	3,000億円	J-1+

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年8月19日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：本西 明久
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年2月1日)、「通信」(2022年6月15日)、「ハイブリッド証券の格付について」(2012年9月10日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) ソフトバンク株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
なお、本件優先株式につき、優先配当金の支払停止が生じた場合、当該支払停止は「債務不履行」に当たらないが、ある事業年度に係る優先配当金が、発行要項に定められた優先配当金の額をもって、翌事業年度の末日(毎年3月31日)までに優先株主(または優先株式の登録株式質権者)に支払われない場合、JCRでは債務不履行の場合と同じ「D」記号を付与することとしている。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO(Nationally Recognized Statistical Rating Organization)の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ(<https://www.jcr.co.jp/en/>)に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル